

さぎ島を元気に！ プロジェクト

日時：12月9日（木）第4校時

学年・学級：5・6学年（7名）

指導者：富本 利枝

育成をめざす資質・能力：主体性 コミュニケーション能力 プログラミング的思考力 課題発見解決力

1 単元について

地域や学校の特色と教師の願い

○三原市の南端に位置する離島の学校である。島の気候を生かした農業が盛んな地域で、豊かな自然もある。また、観光地としても脚光を浴びている。

○極小規模校であるが、学校に対する地域の教育的関心は高く、大変協力的である。

○校区には、文化的・歴史的に価値の高い史跡や島独自の文化背景をもった場所が多くある。地域の活動も活発であり、体験学習や調べ学習を行う際には、人的・物的協力が得やすい。

児童の実態

本学級の第5学年の児童は、第3・4学年の総合的な学習の時間「さぎ島のおすすめの場所を紹介しよう」において、さぎ島の自慢できる場所（島のばんやさん・大野浦海岸・長浜海岸・みなと茶屋など）の調べ学習を通して、地域への愛着を深めてきた。また、第6学年の児童は、「さぎ島名産物！調査隊」においてさぎ島の誇れる名産物（農産物）の現状を調査して、問題点を整理する活動を行い、地域の課題についての意識を深めてきた。

12月のアンケート調査では、「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。」とした児童は83%、「総合的な学習の時間の授業では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。」とした児童は100%であった。しかし、「まあまあ」とした児童の割合の方が多く、自信をもって肯定するにいたっていないことがうかがえる。

学習の題材

本題材では、さぎ島の課題を明確にすることから学習をスタートさせる。仮の探究課題として、「さぎ島を元気にするために活動する」ことを目標に、予想を立て、本当にそれが必要とされる活動であるのかを、島の実態調査や地域の人の声をアンケート調査などで調べるなど、多面的に捉えながら地域社会への理解を深めていく。その中で、予想と実際の調査結果とのギャップから、さぎ島の自然保護や農業の衰退や地域の高齢化等、さぎ島の諸問題に改めて気付かせ、問題を解決するために真の探究課題（本質的な問い）を設定する。目的や意図に応じて情報を収集、整理し、要因などを予測しながら論理的に考えたり、解決策等、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

単元の目標

さぎ島の自然環境・特産物・地域住民に関する実態や問題点を明確にするための取組を行うことを通じて、さぎ島には魅力あるものやことがあるが、その良さを脅かしている課題もあることを理解し、さぎ島の現状を少しでもよくするための方法について考えとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

（1）総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

自分たちが予想しているさぎ島の課題がほんとうにそのとおりであるかを客観的に捉えるために、鷺港、郵便局、営農センターにアンケートを置き、地域の方の声を聞く。また、大野浦海岸や長浜海岸で、実際にごみを収集し、さぎ島の浜辺の実態調査を行う。これらのことから、さぎ島をとり巻く課題の本質を捉えられるようにする。また、SDGsと関連付け、地球規模の課題でもあることを確認する。

○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

さぎ島を元気にすることが自分たちの生活とどう関わっているのかを考えられるよう、単元前半で様々な角度からさぎ島の課題について自分たちの目線から調べ、そこからさぎ島にとって少しでも元気にするために必要な課題を明確にしていく。後半では、明確になった課題を、どう克服していくかを考える中で、自己の生き方を考えさせられるようにする。

(2) カリキュラム・マネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

○国語科…「資料を見て考えたことを話そう」(5年)「町の未来をえがこう」(6年)

さぎ島の課題を明確にする際に、複数の資料を読み、必要な情報を関係づけながらそれらを目的に応じて活用することについて、国語科での指導を総合的な学習の時間に生かす。

○社会科…「暮らしを支える食料生産」「環境を守るわたしたち」(5年)

「わたしたちの生活と政治」(6年)

「環境問題」「農作物」「少子高齢化」などの視点からさぎ島の課題についてまとめたり、他の地域との比較を通して、今後、さぎ島を含め三原市がどのように発展していけばよいかを考えたりすることに活用する。

(3) 学習ツールの活用

○タブレット端末

必要に応じてクロームブックを活用し、個人での情報の収集や整理・分析、友達との意見の交流に使用する。

○思考ツール

意見を広げる場面でイメージマップ、自分の意見を焦点化・構造化する場面でピラミッドチャート、成果物を評価する場面でPMIシート等、必要に応じて効果的に活用する。

3 単元の評価基準（ルーブリック）

資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 ☆粘り強く取り組む ☆自分で学び方を調整する力	課題解決に向けて、ゴールまでどう動けばよいかを考えながら、粘り強く取り組もうとしている。	課題解決に向けて、自分の役割は何か、学びの目的は何かを意識して、ゴールまでどう動けばよいかを考えながら、最後まで粘り強く取り組もうとしている。
		学習の目当てと照らしあわせながら、よりよい方法を考え選びながら学ぼうとしている。	学習の目当てと照らしあわせながら、効果的でよりよい方法を考え選びながら学ぼうとしている。
思考・判断・表現	【プログラミング的思考力】 ☆論理的に考える力	考える力(4観点)を身に付け、学習に使うことができる。	考える力(4観点)を身に付け、目的に合わせて学習に使うことができる。
	【コミュニケーション能力】 ☆思いや考えを豊かに伝え合う力	相手の言いたいことに反応したり、対応したりすることができる。相手の考えを受け止めたり、自分の考えを伝えたりできる。	場面に合わせて反応したり、対応したりすることができる。相手の考えを正確に受け止めたり、自分の考えを豊かに伝えたりできる。
知識・技能		探究的な学習の良さを理解しながら、課題解決のための手順や様々な解決方法を活用している。	探究的な学習の良さを理解しながら、課題解決のための手順や様々な解決方法を身に付けている。

4 指導計画（全 45 時間 本時 12/45）

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
1 さぎ島の課題をさぐるう (15)	テーマ決定・仮の課題の設定・探究 情報の収集 整理・分析 課題の設定 主 思 表 コ	○さぎ島の魅力と課題について今までに学習してきたことから想起する。 仮の探究課題：さぎ島を元気にするために、何が課題かさぐるう ○想起した課題のテーマ別に実態調査アンケートを行う。 ・アンケートの作り方を知る ・アンケート作り ・アンケート実施の依頼・配布 ・アンケート調査実施 ・アンケート回収作業 ・アンケート集計 ○アンケート集計の結果について話し合いさぎ島を元気にするための課題を明確にし、活動の方向性を決定する。	・イメージマップ ・ジャムボード ・アンケート ・行動観察
2 さぎ島の浜辺を美しく保つための活動を考えて実行しよう (35)	情報の収集 整理・分析 課題の設定 主 思 表 コ まとめ・表現 思 表	○探究課題を更新する。 真の探究課題：さぎ島の浜辺を美しく保つために、自分たちができることを考えよう！ ○課題を達成するために必要なことを書き出し、計画を立てる。 ○さぎ島の浜辺の特徴を調べる。 ○他の地域の浜辺の環境課題について調べる。 ○他の地域における浜辺の環境課題に対する取組方法について調べる。 ○さぎ島の浜辺を美しく保つための方法を考える。 ○互いの案を紹介し合い、改善点を話し合う。 ○案を改善し、実行する。 ○浜辺を美しく保つ活動報告をまとめて、アピールする方法を考える。 ○アピール活動を行う。	・行動観察 ・ワーク ・スライド ・活動報告文
活動のまとめ・評価 (5)	まとめ・表現 思 表	○活動について振り返る。 ○ルーブリックを修正し、来年度に引き継ぐ準備をする。 ○本単元の学習を振り返る。 ○自己の成長について発表し合う。 ○来年度の活動について、興味関心を話しあう。	・ワーク ・行動観察

5 本時の学習

(1) 本時の目標

テーマ別アンケート結果から、それぞれの課題を振り返り、共通点や差異点をみつけ、関係や

傾向を明らかにすることができる。

(2) 本時の評価規準 (思考・判断のルーブリック)

- B: 考える力を生かして収集した異なる情報から、共通点や異なる点を見つけ関係や傾向を整理している。
- A: 考える力を **目的に合わせて生かし**、共通点や異なる点から関係や傾向を整理し、課題を明確にしている。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ☆評価
課題の設定	1 前時の学習を想起する。 (調査したテーマ別課題) ・さぎ島の浜辺の状況 ・島の農家さんの状況 ・さぎ島の高齢者の状況	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> アンケート調査結果から、自分たちが取り組むべき課題をはっきりさせよう。 </div> 2 探究の過程、本単元で育成をめざす資質・能力を確認する。 ・整理・分析, 思考力・判断力	○ 本時の課題を確認した上で、探究の過程と主に育成をめざす資質・能力を設定する。
情報の収集	3 テーマ別ごとにアンケート結果を発表する。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> テーマ別にアンケートの結果と分かったことを交流しましょう。 </div> (浜辺の環境) ・思った以上にごみがあった。 ・奥のほうにたまっていた。 ・発泡スチロールやペットボトルごみが多い。等 (農作物) ・高齢者が多い。 ・農作業が大変 ・後継者がいない。 等 (高齢者) ・高齢者のみで暮らしている。 ・体調が不安 ・島の住民が減少し、人との交流が少なくなっている。等	○ 前時までに児童にフォームで結果を集計させておき、キャストしながら全体でその傾向を確認できるようにしておく。
整理・分析	4 意見を整理する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> テーマ別に傾向やつながりを整理し、課題を明確にしましょう。 </div> ・さぎ島の浜辺を何か所か調べたが、どこもごみが多い。有害なごみがある。 ・農作業に従事しているのは高齢者であり、高齢者の課題は、そのまま農作業の課題につながっている。 ・高齢者の問題とさぎ島の交通の利便性はつながっている。	○ テーマ別に課題を見渡せるように整理しながら板書する。 ○ あらかじめ自分たちでたてた予想の課題と実際の調査結果を比較しながら、課題を焦点化させる。 ☆ 考える力を生かして収集した異なる情報から、共通点や異なる点を見つけ関係や傾向を整理している。(思考・判断)

まとめ・表現	<p>5 本時の活動について振り返り、学習したことをまとめる。</p> <p>課題を達成する中で、今日学んだことは何ですか。振り返りをまとめ、交流しましょう。</p> <p>・環境問題で、さぎ島の浜辺はきれいな浜もあると思っていたけれど、かくれたところにごみがたまっていることが分かりました。実際に行き行って調査してみないとわからないことがあると思いました。</p> <p>・農作業自体が大変だと感じている農家さんが多く、若い人の協力を望んでいる人が多いです。</p> <p>・さぎ島には、高齢者が多く、農業関係の人は農作物の課題と重なっています。</p>	<p>○ 振り返りを交流することで、自分たちの学びを理解し、学び方の良さを実感したり、これからの学びに生かそうとしたりする。</p>
--------	--	--

(4) 板書計画

